

観光社会資本の事例

テーマ	北上川水系中津川の景観護岸整備	
【施設の状況写真】		
		
従来のコンクリート護岸から対岸の盛岡城址の石積みに配慮し、石積み護岸を整備	盛岡市の中心市街地であり、周辺施設との景観に配慮し、自然石を活用した石積み護岸を整備。	
【施設の利用写真】		
		
中津川周辺では近隣の桜山神社祭り行われ武者行列がにぎやかに繰り出しています。	河川敷では盛岡大御輿祭りなどの伝統行事が開催されています。	中津川河川敷ではチャグチャグ馬コなどのイベントが行われ多くの見学者が訪れます。
【観光資源としての利用状況】		
<p>盛岡市中心部を流れる中津川周辺は盛岡の城下町としての街並みが色濃く残っており、周辺の歴史的な風景と調和した護岸の修景を行ってきました。</p> <p>そのため今でも中津川は、河岸の散策だけでなく、周辺の神社、寺院等々のお祭りにも利用されています。また、商店街、盛岡城、「プラザおでっ」が近くにあり、中津川は地域住民だけの親水空間ではなく、観光客も訪れる観光スポットとなっています。</p>		

テーマ	北上川水系中津川の景観護岸整備
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 : 北上川上流中津川地区</p> <p>所在地 : 岩手県盛岡市肴町</p> <p>事業名 : 直轄河川環境整備事業</p> <p>事業主体: 東北地方整備局</p> <p>事業期間: 平成7年度～平成9年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>盛岡市は人口28万人を擁する岩手県内最大の都市で、県庁所在地となっている。市内の中心部を北上川、雫石川、中津川の三川が合流し、周辺の美しい自然と古い歴史をもった街です。なかでも、中津川地区は商店、宅地等の密集地となっている他、右岸側には盛岡城跡や官庁街など市内の中核部となっており、鮭の上る川として、また、「チャグチャグ馬コ」を始めとした様々なイベントでの利用と、中津川は名実ともに憩いと安らぎを住民に与える都市的河川となっています。</p> <p>そこで中津川では、景観及び親水に配慮し、盛岡城跡や旧岩手銀行等の歴史・文化と一体となった特殊堤の修景を行うことによって、治水機能をそのまま保持しながら、より一層盛岡市民や観光客などが気軽に親しめる中津川となり、この周辺は観光資源の1つとなっています。</p>	
<p>【位置図】</p>	
<p>【関連ホームページ】 イベント関係: プラザおでって http://www.odette.or.jp</p>	